

ブドウ（無核・無加温栽培）の栽培・防除暦（令和2年版）

月	旬	生育相	管理作業	対象病害虫	基幹防除			100% 当たり 薬量	補完防除及び注意事項	散布日 散布量 記入欄	
					FRACコード（殺菌剤）	IRACコード（殺虫剤）				月	日
1		休眠期	発芽促進(CX-10)処理 主枝延長枝への芽傷処理	◎越冬病害	罹病枝、巻づる、せん定枝、落葉は、園外に持ち出す 防風垣を整備し、園内の通風を良くする						
2	上		ビニル被覆 灌水	◎晩腐病、褐斑病 黒とう病	ペフラン液剤25	M7	250倍	400cc		月	日
3	上中下	萌芽直前 萌芽期	灌水	◎べと病 黒とう病	キノドンフロアブル	M1	600倍	166cc	萌芽後は霜害対策を講じる	月	日
4	上中	発芽期 展葉期	芽かき 灌水 新梢誘引	◎べと病、褐斑病 晩腐病、黒とう病	ジマンダイセン水和剤	M3	1,000倍	100g	※ 病害は十分な散布量(300%/10a以上)で 初期発生を確実に抑える ○アカガネサルハムシ スミオン水和剤40 1,000倍 1B ※ 病害発生防止のため、ハウス内の湿度が 上がらないよう換気する ○晩腐病（多発園：落花期） アミスター10フロアブル 1,000倍 11	月	日
	下	展葉10枚	摘心・花穂整形・摘房 副梢除去	◎べと病、褐斑病 晩腐病、黒とう病	ジマンダイセン水和剤	M3	1,000倍	100g		月	日
		開花始め		◎灰色かび病、 晩腐病	スイッチ顆粒水和剤	9, 12	2,000倍	50g		月	日
5	上	盛期	第1回目ジベ処理 (2~3回に分けて)								
	中	終期 果粒肥大期	第1回目ジベレリン処理 (巨峰系4倍体品種の場合 ジベレリン12.5ppm+フルメット5ppm)						【実施中心日： 月 日】		
		灌水、摘房 第2回目ジベ処理 (1回目から約10日後) 花がら落とし	◎灰色かび病 黒とう病 ◎チャノキアザミウマ	フルーツセイバー 7 1,500倍 66g コルト顆粒水和剤 9B 3,000倍 33g			※ 灰色かび病は耐性菌発生の恐れがある ため、同一農薬を連用しない ○灰色かび病 パスワート顆粒水和剤 1,500倍 17 ○チャノキアザミウマ アクトア顆粒水溶剤 2,000倍 4A	月	日		
下	果粒肥大期	第2回目ジベレリン処理 (巨峰系4倍体品種の場合 ジベレリン25ppm)						【実施中心日： 月 日】			
6	上	硬核期	袋掛け (できるだけ昼温を下げる)	◎晩腐病、褐斑病 ぶら病、黒とう病 ◎アザミウマ類、 ハマキムシ類	袋掛け前 オンリーワンフロアブル 3 2,000倍 50cc ディアナWDG 5 5,000倍 20g			※ 袋掛け前にアザミウマ類を必ず防除する ○コウモリカ カットサイトS 原液~1.5倍(21日前まで) ロビンソフト スプレー噴射(前日まで) ※ 環状剥皮(満開30~35日後)	月	日	
	中	果粒軟化期	新梢誘引					【袋かけ後】 ○チャノキアザミウマ(多発時) ダントツ水溶剤 2,000倍(前日まで) エキセルSE 5,000倍(前日まで)	月	日	
	下	着色開始	灌水 副梢除去(1~2葉残し) ビニル除去	◎褐斑病 黒とう病 ◎べと病	ビニール除去前 3 オーシャンフロアブル(7日前まで) 2,000倍 50cc ランマンフロアブル(14日前まで) 2,000倍 50cc		○ハタニ類 スターマイトフロアブル 2,000倍(14日前まで) 25A ○ハマキムシ類 サムコフロアブル10 5,000倍(前日まで) 28 ○べと病 エトフィンフロアブル 1,000倍(7日前まで) レバースフロアブル 2,000倍(7日前まで) 40 ○褐斑病 オンリーワンフロアブル 2,000倍(前日まで) 3	月	日		
7	上中下	果粒軟化期 成熟期	新梢誘引 適正着果量確認 新梢管理	◎べと病	ムッシュホルダー-DF 21 M1 500倍 200g 又はICホルダー-48Q M1 30倍 3.3kg			○ハタニ類 サムコフロアブル10 5,000倍(前日まで) 28 ○べと病 エトフィンフロアブル 1,000倍(7日前まで) レバースフロアブル 2,000倍(7日前まで) 40 ○褐斑病 オンリーワンフロアブル 2,000倍(前日まで) 3	月	日	
8	上中		収穫始め 収穫終わり					※ スミオン水和剤40の散布は収穫後に限る	月	日	
9				◎べと病 ◎ブドウトラカミキリ	ムッシュホルダー-DF M1 500倍 200g 又はICホルダー-48Q M1 30倍 3.3kg スミオン水和剤40 1B 800倍 125g			※ スミオン水和剤40の散布は収穫後に限る	月	日	
10			土づくり ↑ 土壌改良資材 堆肥投入 中耕	◎べと病	ムッシュホルダー-DF M1 500倍 200g 又はICホルダー-48Q M1 30倍 3.3kg			ブドウトラカミキリ発生時は、 ダントツ水溶剤 2,000倍を加用する 4A	月	日	
11		落葉前		◎べと病	ムッシュホルダー-DF M1 500倍 200g 又はICホルダー-48Q M1 30倍 3.3kg			※ 早期落葉を避け、初霜まで葉を保つ	月	日	
12		休眠期	排水対策 縮・間伐 整枝・せん定 巻づる除去					○白紋羽病 フロンサイトSC 500倍 50~100%樹 ※ 灌水器で樹幹から半径1m程度の範囲で 数か所に灌注処理。かぶれに注意 29	月	日	

注1) 令和元年12月4日現在の登録内容に基づき記載
注2) 農薬使用時期・使用回数等については別紙参照

【施肥基準例】

くみあいぶどう配合1号(7-7-7)使用の場合 (10aあたり)

時期	肥料名	生産量		
		1.5t	1.8t	2.1t
初秋肥 (収穫直後)	尿素 (硫安)	100g/樹 (200g/樹)		
秋肥 (11月上旬)	くみあい ぶどう配合 1号(7-7-7)	4袋	6袋	7袋

注) 堆肥は完熟牛ふん堆肥2t/10aを施用する

【植物成長調整剤】

薬剤名	使用目的	使用時期	使用方法	希釈倍数	散布量	本剤の使用回数
CX-10	休眠打破による新梢の萌芽促進及び発芽率の向上	収穫後発芽前	結果母枝に散布又は塗布	10~20倍	150~200% /10a 以内	1回
STジベラ錠 (巨峰系4倍体品種) [無核栽培]	<2回処理> 無種子化と果粒肥大促進	満開時~ 満開3日後 満開10日 ~15日後	花房浸漬 果房浸漬	12.5~25ppm 25ppm	-	2回
フルメット液剤 (巨峰系4倍体品種) [無核栽培]	着粒安定	満開時~ 満開3日後	花房浸漬	2~5ppm	-	1回
ストマイ液剤20 アグレプト液剤	無種子化	満開予定 日14日前~ 開花始期	散布又は 花房浸漬	1,000倍 (200ppm)	-	1回

※ クイーンニーナ、シャインマスカット：無核果率向上のために開花前にストマイ液剤20 1,000倍散布
※ 使用薬剤、時期、濃度・量、方法については、品種毎にラベルを熟読の上使用する

<農薬登録内容が変更されている場合があるので、農薬使用前には表示ラベルをしっかりと確認しましょう！>